

補助金現況調書

●補助金の概要

		担当課室	観光プロモーション室
補助金の名称	銚子市観光施設等運営費補助金		
性質分類	⑤その他事業費補助		
補助対象者	指定管理者又は委託業務の受託者として市が設置する観光施設等の管理運営を行う者		
補助開始年度	令和6年度		
国・県補助状況	④市単独補助		
根拠規定等名称 (条例、規則、要綱)	銚子市観光施設の管理運営等に係る補助金交付要綱		

●補助金の目的等

対象者・団体等が 補助金で行う活動内容	観光施設等の管理運営
補助目的及び効果	観光施設等における利便性の向上を図り、適切な管理とサービスの充実をもって観光振興に資すること。
補助内容等	指定管理者又は委託業務の受託者として、市が設置する観光施設等の通常の管理運営業務等を超えて行うPRなどに係る経費、売店等の運営に係る経費及びその他管理運営に伴う経費で、これらの活動、運営に伴う収入をもって充てることができないと認められる経費
補助率、補助基準等	補助対象経費の10/10(上限：市長が別に定める額)

●交付実績

(単位：千円)

項 目	令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(決算)
交 付 件 数	—	1件	1件
決 算 額	—	6,000	4,880
国 支 出 金			
県 支 出 金			
そ の 他			
一 般 財 源		6,000	4,880

●今後の方向性

方 向 性	現状維持
総 合 評 価 (上記方向性を選択した理由等)	観光施設の安定的な運営により観光客を迎えるサービス体制の充実・PRにつながった。

補助金現況調書

●補助金の概要

	担当課室	観光プロモーション室
補 助 金 の 名 称	銚子ボランティアガイド観光船頭会事業費補助金	
性 質 分 類	③奨励事業費補助	
補 助 対 象 者	銚子ボランティアガイド観光船頭会	
補 助 開 始 年 度	不明	
国 ・ 県 補 助 状 況	④市単独補助	
根 拠 規 定 等 名 称 (条 例 、 規 則 、 要 綱)	銚子ボランティアガイド観光船頭会事業費補助金交付要綱	

●補助金の目的等

対 象 者 ・ 団 体 等 が 補助金で行う活動内容	・ 地球の丸く見える丘展望館での班当番制による観光案内、その他観光団体に対する観光案内 ・ 銚子市民を対象とした「観ボラと行く銚子観光」ツアー、会員の知識・技能向上を図るフィールドワーク
補 助 目 的 及 び 効 果	観光のあり方が多様化する中で、銚子ボランティアガイド観光船頭会へ事業費を補助し、観光客のニーズに即したきめ細やかな観光案内を行う。
補 助 内 容 等	事業費、交通費、事務費、通信連絡費
補 助 率 、 補 助 基 準 等	定額 上限10万円

●交付実績

(単位：千円)

項 目	令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(決算)
交 付 件 数	1件	1件	1件
決 算 額	100	100	100
国 支 出 金			
県 支 出 金			
そ の 他			
一 般 財 源	100	100	100

●今後の方向性

方 向 性	現状維持
総 合 評 価 (上記方向性を選択した理由等)	市の滞在型観光を目指す観光振興において、観光客を迎える体制の充実・PRにつながった。また、活動を通して地域活性化や地域住民の交流など地域づくりにも貢献した。

補助金現況調査

●補助金の概要

		担当課室	観光プロモーション室
補助金の名称	銚子市観光協会(銚子DMO)事業費補助金		
性質分類	⑤その他事業費補助		
補助対象者	銚子市観光協会(銚子DMO)		
補助開始年度	令和7年度		
国・県補助状況	④市単独補助		
根拠規定等名称 (条例、規則、要綱)	銚子市補助金等交付規則		

●補助金の目的等

対象者・団体等が 補助金で行う活動内容	企業版ふるさと納税を市補助金の財源として活用し、「生のマグロ」が食べられるまちとして都市部への認知度拡大を図り、食目的の観光誘致を促進するとともに、銚子ポートタワーにおける生マグロのPRなどを実施する。
補助目的及び効果	官民一体となって連携し、持続的な誘客促進と観光魅力の向上を目指す。
補助内容等	委託費、広報費・広告宣伝費など
補助率、補助基準等	定額補助

●交付実績

(単位：千円)

項 目	令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(決算)
交 付 件 数	—	—	1件
決 算 額	—	—	1,000
国 支 出 金			
県 支 出 金			
そ の 他			1,000
一 般 財 源			

●今後の方向性

方 向 性	現状維持(令和8年度末終了予定)
総 合 評 価 (上記方向性を選択した理由等)	従来十分に観光誘客コンテンツとして活用されていなかった「生のマグロ」という地域資源に着目し、JR東日本との連携による特別列車「生マグロトレイン」の造成を中心に、地域全体での観光価値を再構築した。また、関係事業者との合意形成、運営体制の整備、販路設計、モニターツアーの実施・検証を行い、地域の魅力向上と観光誘客の促進に貢献した。令和8年度も本事業を継続し、さらなる展開を図る。具体的な取り組みとしては、「生マグロ」に特化したJRの特別列車を運行する「生まぐろツアー」の実施をはじめ、首都圏における販促プロモーションの展開や、インバウンド誘致に向けた成田空港でのPR活動などの実施をもって事業を終了する予定。

補助金現況調書

●補助金の概要

		担当課室	産業振興室
補助金の名称	銚子市勤労者福祉推進事業費補助金		
性質分類	⑤その他事業費補助		
補助対象者	銚子市勤労者福祉推進協議会		
補助開始年度	不明		
国・県補助状況	④市単独補助		
根拠規定等名称 (条例、規則、要綱)	銚子市勤労者福祉推進事業費補助金交付要綱		

●補助金の目的等

対象者・団体等が 補助金で行う活動内容	勤労者家族慰安バスハイク、勤労者ソフトボール大会、労政懇談会などの開催
補助目的及び効果	勤労者及びその家族を含む相互の親睦と労働団体の交流、労働に関する知識の向上と福祉の推進を図る。
補助内容等	勤労者福祉推進事業の事業費及び事務局費
補助率、補助基準等	定率補助：補助対象経費の10/10

●交付実績

(単位：千円)

項 目	令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(決算)
交 付 件 数	1件	1件	1件
決 算 額	33	281	244
国 支 出 金			
県 支 出 金			
そ の 他			
一 般 財 源	33	281	244

●今後の方向性

方 向 性	現状維持
総 合 評 価 (上記方向性を選択した理由等)	勤労者家族慰安バスハイク、労政懇談会など主要行事を開催し勤労者の福祉推進に寄与できたことから、今後も団体の活動を継続していくためにも現状の補助金が必要である。

補助金現況調書

●補助金の概要

	担当課室	産業振興室
補助金の名称	銚子市中小企業資金融資利子補給金	
性質分類	⑥利子補給・信用保証料補助	
補助対象者	市内中小企業者	
補助開始年度	昭和36年度	
国・県補助状況	④市単独補助	
根拠規定等名称 (条例、規則、要綱)	銚子市中小企業育成資金利子補給条例	

●補助金の目的等

対象者・団体等が 補助金で行う活動内容	中小企業資金融資の利子に係る利子補給
補助目的及び効果	中小企業資金融資を受けた市内の事業者に対する利子補給を行うことにより、中小企業の育成振興を図る。
補助内容等	中小企業資金融資の利子に係る利子補給金
補助率、補助基準等	定率補助：補給率 1.64%

●交付実績

(単位：千円)

項 目	令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(決算)
交 付 件 数	79件	71件	69件
決 算 額	4,003	3,402	3,718
国 支 出 金			
県 支 出 金			
そ の 他	4,003	3,402	3,718
一 般 財 源			

●今後の方向性

方 向 性	拡充
総 合 評 価 (上記方向性を選択した理由等)	融資額に対する利子補給を行うことにより、市内中小企業者の生産的な事業活動や設備投資を促進してきた。引き続き、利子補給を行うことで、中小企業の育成及び産業振興を図る。また、昨今の金利上昇の傾向や近隣市町の利子補給制度が本市よりも充実している状況を総合的に考慮して、利子補給率を令和8年度から2.7%に改定した。

補助金現況調書

●補助金の概要

		担当課室	産業振興室
補助金の名称	銚子市商工会議所運営費補助金		
性質分類	⑤その他事業費補助		
補助対象者	銚子商工会議所		
補助開始年度	令和7年度		
国・県補助状況	④市単独補助		
根拠規定等名称 (条例、規則、要綱)	銚子市商工会議所運営費補助金交付要綱		

●補助金の目的等

対象者・団体等が 補助金で行う活動内容	銚子商工会議所が実施する市内事業者への経営指導等
補助目的及び効果	銚子商工会議所の運営を支援することで、市内商工業の振興及び地域の発展を図る。 市内事業者の経営基盤強化、商店街組織の組織力強化、事業の実施による持続可能な 地域経済の循環創造に寄与する。
補助内容等	銚子商工会議所が行う中小企業相談所の事業に係る事業費等
補助率、補助基準等	定率補助：補助対象経費の1/2

●交付実績

(単位：千円)

項 目	令和5年度（決算）	令和6年度（決算）	令和7年度（決算）
交 付 件 数	—	—	1件
決 算 額	—	—	3,600
国 支 出 金			
県 支 出 金			
そ の 他			
一 般 財 源			3,600

●今後の方向性

方 向 性	現状維持
総 合 評 価 (上記方向性を選択した理由等)	市内商工業の振興及び地域の発展を図るため、現状水準の補助金が必要である。

補助金現況調書

●補助金の概要

		担当課室	産業振興室
補助金の名称	銚子市企業立地等促進事業補助金		
性質分類	⑤その他事業費補助		
補助対象者	市内において新規に事業を行う又は既存の工場等の再投資を行う企業		
補助開始年度	平成29年度		
国・県補助状況	④市単独補助		
根拠規定等名称 (条例、規則、要綱)	銚子市企業立地等促進事業補助金交付要綱		

●補助金の目的等

対象者・団体等が 補助金で行う活動内容	本市への企業等の新規立地や設備への再投資
補助目的及び効果	企業等の新規立地や設備への再投資を促進し、新たな雇用の創出と既存の雇用の維持を図ることで、本市の経済振興に寄与する。
補助内容等	本市で新規立地又は再投資された資産に係る固定資産税及び都市計画税を補助対象経費として行う補助等
補助率、補助基準等	定率補助：新規所有型補助（固定資産税及び都市計画税相当 上限なし 5年間）、再投資補助（補助対象経費の1/2 上限1,000万円 3年間）等

●交付実績

(単位：千円)

項 目	令和5年度（決算）	令和6年度（決算）	令和7年度（決算）
交 付 件 数	7件	6件	6件
決 算 額	39,026	32,153	32,280
国 支 出 金			
県 支 出 金			
そ の 他	39,026	32,153	32,280
一 般 財 源			

●今後の方向性

方 向 性	拡充
総 合 評 価 (上記方向性を選択した理由等)	雇用の創出と維持を図るために有効であり、引き続き本制度による補助金が必要である。また、近隣市町の企業立地に係る補助制度が本市よりも充実している状況を総合的に考慮して、再投資に対する補助の拡充を検討する。

補助金現況調査

●補助金の概要

		担当課室	産業振興室
補助金の名称	銚子市地域おこし協力隊起業等支援補助金		
性質分類	⑤その他事業費補助		
補助対象者	地域おこし協力隊員として1年を超えて活動に従事している者、または地域おこし協力隊員の任期終了の日後1年以内の者		
補助開始年度	令和7年度		
国・県補助状況	④市単独補助		
根拠規定等名称 (条例、規則、要綱)	銚子市地域おこし協力隊起業等支援補助金交付要綱		

●補助金の目的等

対象者・団体等が 補助金で行う活動内容	本市を拠点に起業または事業承継
補助目的及び効果	地域おこし協力隊の任期後の定住・定着に向け、銚子市の地域資源と協力隊活動の成果を活かして起業または事業承継を実現することを目的とし、初期投資を支援して事業の継続性を高め、地域課題の解決と地域経済の活性化に繋げる。
補助内容等	起業または事業承継をするために要する経費として、設備費、備品費並びに土地及び建物の賃借に係る経費や法人登記に係る経費等を補助
補助率、補助基準等	定率補助：補助対象経費の10/10（上限：100万円）

●交付実績

（単位：千円）

項 目	令和5年度（決算）	令和6年度（決算）	令和7年度（決算）
交 付 件 数	—	—	1件
決 算 額	—	—	1,000
国 支 出 金			
県 支 出 金			
そ の 他			
一 般 財 源			1,000

●今後の方向性

方 向 性	現状維持
総 合 評 価 (上記方向性を選択した理由等)	令和7年度は1件の補助を実施し、地域おこし協力隊の1名が本市で起業に至ったことから、本補助制度は起業促進・定着支援の面で一定の効果があったと評価できる。従って、現状維持とし今後も新規での相談や申請があった場合には、事業内容等を確認の上補助する。